平成３１年度（令和元年度）　全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立来待小学校）

令和元年8月27日

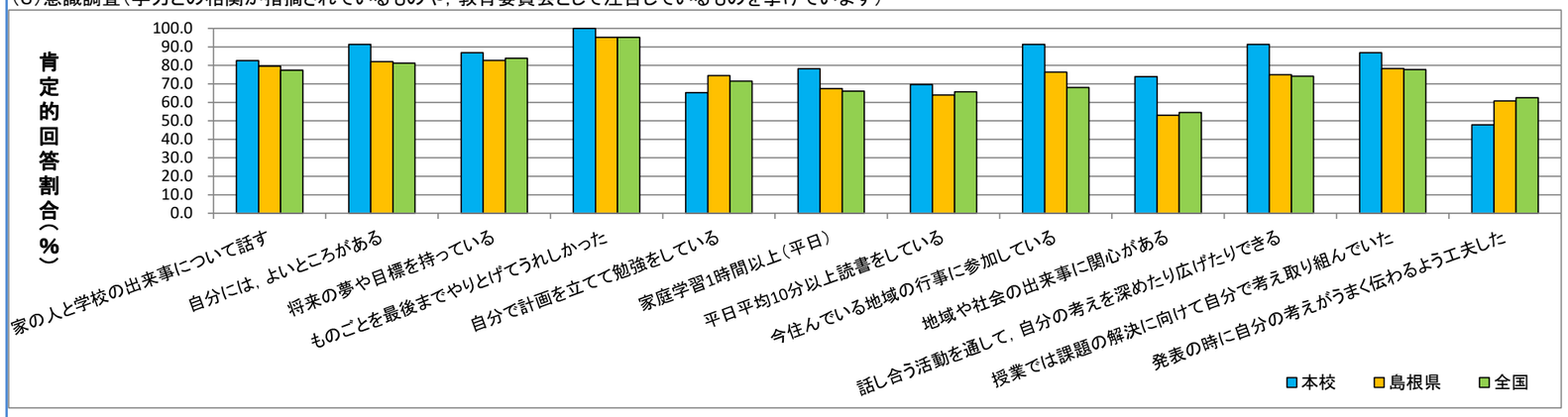
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果，●:課題)	対　策
国語	○学習指導要領「書くこと」の領域において，目的や意図に応じ，調べたことを報告する文章を，図表やグラフを用いて，自分の考えが伝わるように工夫して書くことは，比較的よくできているが，さらに力を伸ばしたい。 ○「読むこと」の領域において，目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読むことは，かなり達成できている。 ●「話すこと・聞くこと」の領域で，話し手の意図をとらえながら聞き，自分の考えをまとめるなどして表現することが，十分にはできていない。 ●記述式の問題について，設問の意図を読み取ったり文章を書いて表現したりすることが苦手で，無解答のままの児童の割合が多い。	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること，記述の仕方を工夫したり図表を用いたりして書くことなどの学習活動を，国語の時間を中心に，他の教科・領域においても積極的に取り入れる。書くことに抵抗がある児童には，フォーマットを示し，文章を構成していく手法を学びながら書くことができるようにする。 ・新聞の記事や図鑑，事典の文章などを活用して，見出し作り（キーワードや中心文のとらえ），要点や要約，文章の読み比べなどの学習活動を組んだり家庭学習にしたりして，読解力と表現力を伸ばしていく。
算数	○学習指導要領「数と計算」「数量関係」「図形」「量と測定」の全領域にわたって，学習した内容がよく理解されており，その理解のもと，的確に正答を導き出すことができている。特に，平面図形の理解やグラフの読み取りなどについての設問では，正答率が高い。 ○日常生活の問題の解決のために，既習事項を活用して判断する問題にも，根気強く取り組んで解答し，無解答はほとんどない。 ●言葉や数を適切に用い，図形の求積方法，四則計算に成り立つ性質などを，手順を追って記述して説明することが苦手である。 ●日常問題の解決のために，多くの情報から必要な数量を見いだしたり，場面の状況を数学的にとらえて処理したりする力を伸ばす必要がある。	・筋道立てた説明ができるように，学習全般において，手順を追った説明の仕方を日頃より意識させるとともに，グループやペアなどで対話する機会を増やしていく。 ・活用・発展問題にも重点を置いて取り組み，児童同士で協働して問題を解決していく活動を通して，児童の思考を深めたり広げたりしていく。また，日常生活の場面や他教科の学習でも，多くの情報の中から必要な数量を取り出したり数学的に処理したりする経験を増やす。

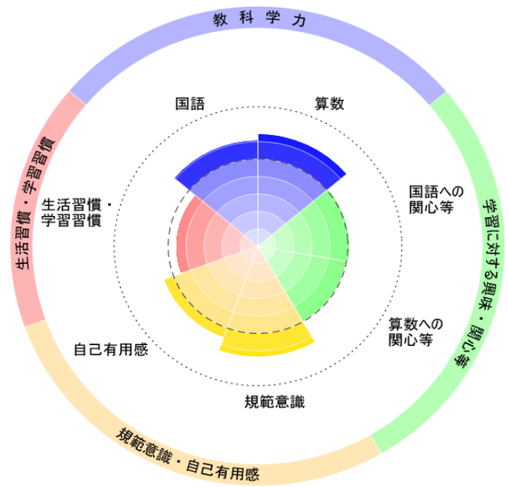
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果，●:課題)	対　策
○平日1時間以上という家庭学習の習慣が定着している。また，学校図書館にもよく通い，平日15分以上と呼びかけている家庭読書の時間も増えつつある。 ○地域の行事に進んで参加したり，地域をよくするために何ができるか関心をもって考えたりする児童が多い。 ●話し合う活動を通して，自分の考えを深めたり広げたりしていると感じている児童が多いものの，自分の考えを工夫して相手にうまく伝えようとしている児童は少ない。 ●家庭学習に真面目に取り組む児童が多いものの，自分で主体的に計画を立てて取り組んでいる児童はやや少ない。	・学校生活全般を通して，自分の考えや思いを伝える場や機会を多く設けるようにする。また，相手に分かりやすく伝えるスキル（「話す・聞くスキル」）を示し，表現する力を身につけさせる。 ・計画的な学習モデルや自主的な学習モデルを紹介したり，家庭学習の取組の様子について情報交換をしたりして，児童の意識を高める。

(3)意識調査（学力との相関が指摘されているものや，教育委員会として注目しているものを挙げています）



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5)その他，今後特に力を入れて取り組むこと

・児童自らが問題を見いだし友達と協働して解決していく学習過程や学習形態を工夫し，児童が主体的で対話的に学びを深めていくことができるように授業改善を図っていくことに，さらに取り組む。

・「いしまるくんタイム」（学力向上のための特設時間）を活かしたり，家庭学習の内容を充実させたりして，算数科を中心とした活用・発展問題に積極的に取り組むようにし，追究していく力を伸ばしていく。また，読書活動（家庭読書を含む）の充実を図ったり，新聞を活用したスキルアップに取り組んだりして，国語の読解力と表現力を伸ばしていく。

【参考】

○平均正答率

	本　校	松江市	島根県	全国
国語	74	63	62	63.8
算数	77	66	65	66.6

受検者数　　23 人

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は，最少の受検者数をもって表示して下さい。